

安城市歴史博物館刊行物のご案内

目録

H23.10.25 現在

書名	年度	内容	頁数	重量 厚み	定価	版形
安城文化財図録 追録版	平成 2年		18頁	70g	250円	B5縦 完売
安城市歴史博物館 常設展示案内	平成 2年	博物館の常設展示を写真(オールカラー)、イラスト等で分かりやすく解説。	111頁	520g 0.7cm	1,000円	A4縦
安城市歴史博物館 (見学の手引き)	平成 2年	見学学習のために作成した常設展示の手引き。個々の展示資料を細かく解説している。	136頁	400g	1,500円	B5縦 完売
開館記念特別展 「再発見 安城の文化」 ～かたちに託す こころの世界～	平成 2年	安城市内に所在する国・県・市の指定する文化財等を写真・図版で紹介する。	62頁	220g 0.5cm	1,500円	B5縦
特別展 「明治の三大用水」 ～安積疏水・那須疏水・ 明治用水～	平成 3年	明治期に建設された安積疏水、那須疏水、明治用水の歴史過程を紹介する。	72頁	250g 0.5cm	900円	B5縦
郷土を学ぶ絵本1 「石川丈山」	平成 3年	文人・石川丈山の生涯を紹介した絵本。文は元館長神谷素光、絵は峯村敏が担当した。	32頁	150g	600円	B5縦 完売
常設展示室解説書 「顔のメッセージ」	平成 3年	常設展示「顔のメッセージ」のコーナーの解説書。	44頁	120g	100円	B5縦 販売中止
企画展 「三河と足利氏」 ～尊氏を支えたもうひとつの三河武士～	平成 3年	足利氏が三河武士として歴史の表舞台に登場する過程と関連する事柄を資料として紹介する。	40頁	170g	1,000円	B5縦 完売
企画展 「土のキャンパス」 ～縄文土器のデザイン～	平成 4年	縄文土器の模様を縄文人の「表現」と見ること、彼らの心の表現の世界にせまる。	56頁	200g 0.5cm	1,000円	B5縦
企画展 「筥(うけ)」 ～川漁と生活～	平成 4年	漁撈具「筥」を通して、漁撈文化のもつ意味を考える。市内油ヶ淵の漁も紹介する。	36頁	210g	800円	A4横 完売
企画展 「おもちゃの文化史」 ～北原照久コレクション～	平成 4年	今ではすっかり影をひそめたブリキのおもちゃのミニ写真集。	14頁	60g 0.1cm	100円	B5縦
開館1周年記念特別展 「文人 石川丈山の世界」	平成 4年	安城出身の文人、石川丈山の生涯を彼が生前残した漢詩・書・工芸を通して紹介する。	62頁	320g	1,000円	B5縦 完売
特別展 「聖徳太子像の造形」 ～真宗の聖徳太子像～	平成 5年	西三河地方に伝わる主要な太子像を中心に関連する各地に伝わる聖徳太子の木造・画像を紹介する。	64頁	300g	1,000円	A4横 (変形) 完売
企画展 「星まつり・日本の七夕」 ～天の川にかける夢～	平成 5年	安城の古い七夕習俗と日本の特徴的な七夕行事などの資料を。紹介す	56頁	230g	800円	A4縦 (変形) 完売

書名	年度	内容	頁数	重量 厚み	定価	版形
企画展 「近世三河の俳諧」 ～卓池・秋挙・榎老・ 塞馬～	平成 5年	芭蕉に連なる三河の四俳人及び安城の都築和楽について紹介する。	55頁	220g	800円	B5縦 完売
企画展「真宗の美術」 第2回安城の文化財展	平成 5年	方便法身尊像や名号等の絵像本尊、名号本尊を中心とした市内の真宗美術を紹介する。	12頁	60g	300円	B5横 完売
企画展 「日本独創の技術 ガラ紡」	平成 5年	ガラ紡の歴史と技術的特色を三河地方との関わりを交えて紹介する。	48頁	200g	800円	B5縦 完売
第1回収蔵品展 「安城 食の風景」	平成 6年	今の世に食の話題は果てしないが、昔を訪ねるものはまれ。安城地方伝統の食を知る書。	178頁	520g 1.6cm	1,500円	B5縦 第2刷 (平成7年)
企画展 「弥生の華 パレススタイル土器」	平成 6年	パレススタイル土器の華麗な造形美をテーマとして、その歴史的な背景にも触れながら紹介する。	45頁	250g	800円	A4縦 (変形) 完売
特別展 「家康と尾張徳川家」 徳川美術館コレクション	平成 6年	家康の「駿府御分物」をはじめ徳川美術館の由緒ある大名道具の数々を紹介する。	61頁	380g 0.6cm	1,500円	A4縦 (変形)
特別展 「蓮如上人」 ～復興の生涯～	平成 7年	真宗中興の祖、「蓮如上人」の業績を自筆の名号や御文、関連の絵画・典籍で紹介する。	78頁	380g	1,000円	A4縦 完売
企画展 「古代集落遺跡を掘る」 ～西三河のムラと都～	平成 7年	西三河集落遺跡の概要並びに地方の暮らしの様子を都の暮らしと対比して紹介する。	72頁	410g	1,000円	A4縦 完売
企画展 「西洋医学事始」 ～治療と養生の世界～	平成 7年	江戸時代の中ころ、漢方から蘭方への移行期の医学事情を人物・解剖図を交えて紹介。	55頁	250g 0.4cm	1,000円	A4縦
開館5周年記念企画展 「農鍛冶の世界」 ～村のくらしと鉄器～	平成 7年	トントンという音の背後には、農民と鍛冶のくらしと歴史が見える。	63頁	210g	900円	B5縦 完売
開館5周年記念特別展 「愛知の中世陶器」 ～渥美・常滑・瀬戸～	平成 8年	愛知の中世陶器110点を通じてその枯淡な美と歴史を紹介。作品解説付き。	79頁	350g 0.6cm	1,000円	A4縦
企画展 「妖怪図鑑」 ～たそがれと闇に ひそむもの～	平成 8年	闇に対する潜在的な恐怖から生み出された妖怪の姿の変遷を錦絵・版本・絵巻物で紹介する。	56頁	340g	1,500円	A4縦 完売
第2回収蔵品展 「掘り出された 安城の歴史」	平成 8年	市内出土の考古資料から明らかになった安城の歴史を9つの視点から解説する。	55頁	330g 0.6cm	800円	A4縦
歌川広重生誕二百年 記念企画展 「広重の江戸名所」 日本浮世絵博物館所蔵	平成 8年	雨、月、雪、そして夕夜景。日本人の自然観を版画で表現した広重の名品32点を収録。	35頁	190g 0.4cm	1,000円	A4縦 (変形)
市制45周年記念特別展 「日本デンマークの姿」 ～大正・昭和の農村振興～	平成 9年	日本デンマークと呼ばれたころの農業先進地としての碧海郡の様子を紹介する。	86頁	500g 0.9cm	1,200円	A4縦 第2刷 (平成17年)

書名	年度	内容	頁数	重量 厚み	定価	版形
企画展「本證寺」 ～その歴史と美術～	平成 9年	本證寺の重文の絵伝を含む59点の 寺宝を写真と解説で紹介する。	57頁	350g	1,000円	A4縦 完売
企画展「東海の貝塚」 ～食べる・祈る・葬る～	平成 9年	貝塚という「墓」から明らかになった縄 文人の姿、堀内貝塚出土の再葬墓 も掲載する。	63頁	380g	1,000円	A4縦 完売
特別展「三河万歳」 ～伝承された舞の形～	平成 10年	万歳の画や古写真の他「江戸川 柳」から万歳を読む。「三河万歳の 足跡」と解説を納める。	75頁	440g	1,000円	A4縦 第2刷 (平成15年) 完売
企画展 「ラジオとテレビジョン」 ～昭和27年、安城市、 ラジオ普及率 日本一に輝く～	平成 10年	昭和27年安城市のラジオ普及率が 日本一位。市の農村文化の先進性 を示すこととして紹介する。	47頁	300g 0.4cm	600円	A4縦
企画展 「弥生の技術革新 野 焼きから覆い焼きへ」 東日本を駆け抜けた土器 焼成技術	平成 10年	弥生時代には大陸から土器の焼 成技術等も伝わってきた。野焼きと 覆い焼きの違いを紹介する。	55頁	340g	1,100円	A4縦 完売
特別展 「東海の木喰仏」 ～二百年の微笑の魅力～	平成 11年	木喰は61歳から93歳まで干体をこえる 仏像を残した。寛政11年～12年 の三河・遠江・駿河の完成期木喰 仏を紹介する。	80頁	480g 0.7cm	1,600円	A4縦 (変形)
企画展 「幽霊学入門」	平成 11年	江戸時代から明治時代の幽霊像と その変遷を版本・錦絵・肉筆の3種 類の幽霊画から紹介する。	60頁	380g	1,200円	A4縦 (変形) 完売
企画展 「三河土人形」	平成 11年	その躍動する姿を紹介。聞き取り調 査やその盛衰過程をまとめた「覚え書 き」も収録。	47頁	300g	1,000円	A4縦 完売
企画展 「写された幕末・明治」	平成 11年	古写真収集家として著名な石黒敬 章氏の古写真から優秀作品を選ん で紹介する。	15頁	62g	100円	A4縦 完売
企画展 「安城の絵馬」	平成 12年	絵馬の歴史をたどるとともに安城市 内の神社に奉納された絵馬の中で 特に江戸・明治時代のものを中心 に紹介する。	56頁	340g	1,000円	A4縦 完売
企画展 「江戸時代の測量術」	平成 12年	江戸時代の測量技術について、在 来のものから伊能忠敬までの方法を 紹介する。	71頁	420g	1,100円	A4縦 完売
開館10周年記念特別展 「弥生の絵画 倭人の顔」 ～描かれた2000年前 の世界～	平成 12年	本館所蔵の人面文土器を中心に 絵画・記号土器・絵画銅鐸計、17 0点を収録。	125頁	670g 0.9cm	1,500円	A4縦 (変形) 第2刷 (平成15年)
企画展 「旅のあこがれ 浮世絵 東海道」	平成 13年	東海道宿駅設置400年を記念して 東海道について描かれた浮世絵をテ ーマ別に紹介する。	71頁	380g 0.7cm	1,200円	A4縦
企画展 「京都誓願寺と 三河の念仏宗」	平成 13年	三河を拠点とし、京都誓願寺を本山 とする浄土宗西山深草派の寺院に 伝わる文化財を紹介する。	79頁	390g	1,000円	A4縦 完売

書名	年度	内容	頁数	重量 厚み	定価	版形
企画展 「東海の凧 桜井の凧」	平成 13年	『凧銀座』と呼ばれる東海地方の凧と凧文化を紹介する。インタビューと東海地方の「凧文化を考える」を収録。	63頁	320g 0.5cm	1,000円	A4縦 第3刷 (平成17年)
市制50周年記念特別展 「アンジョハンジョ安城展」 ～安城市のあゆみ～	平成 14年	昭和27年5月の市制施行から現在まで、安城市50年の歩みを写真などで紹介する。	22頁	100g 0.1cm	100円	A4縦 完売
企画展 「再現！ からくり人形」	平成 14年	東海地方に多く見られる「山車からくり」10組と「機巧図彙」にみられる「座敷からくり」を紹介。平成14年に安城市尾崎町で発見された「額祭り」のからくり人形も掲載。	22頁	130g 0.2cm	200円	A4縦
特別展 「ものがたり 善光寺如来絵伝」	平成 14年	信州善光寺の縁起を描く善光寺如来絵伝と関連資料を掲載。出品作品のほか2例も加え、中世善光寺如来絵伝を網羅。	128頁	580g 1.0cm	1,300円	A4縦
安城七夕まつり 第50回記念特別展 「日本の三大七夕」 七夕『額』飾りの世界	平成 15年	日本三大七夕といわれる仙台・平塚・安城の七夕を紹介するとともに、安城地方の伝統的な七夕飾り「額」を明らかにする。	75頁	360g 0.5cm	800円	A4縦
企画展 「よみがえる上宮寺の宝物」	平成 15年	昭和63年の火災で大きな被害を受けた後、順次修復が進められる上宮寺の文化財を紹介。	72頁	360g	700円	A4縦 完売
埋蔵文化財センター オープン記念企画展 「縄文・弥生の遺産」	平成 15年	吉野ヶ里遺跡や三内丸山遺跡など著名な縄文・弥生時代の7遺跡に加え、西三河を代表する複合遺跡・鹿乗川流域遺跡群を総合的に紹介。	88頁	410g	1,000円	A4縦 完売
七夕之本地絵巻 「たなばたのほんじ」	平成 16年	御伽草子『七夕之本地』絵巻(本館蔵)の全編をカラー図版で紹介、物語のあらすじも収録。	95頁	460g 0.6cm	1,000円	A4横
特別展 「北欧デンマークの輝き」 ～王室銀製品と友好都市コリングのコレクション～	平成 16年	コリング市からの、伝統の銀製品や絵画、工芸品を展示。コリングの歴史や「日本デンマーク」の由来についての論考も収録。	137頁	610g 0.8cm	1,000円	A4縦
企画展 「安城と新美南吉」	平成 17年	亡くなる直前までの5年間、教員として安城高等女学校へ通った童話作家新美南吉と安城の関わりを紹介します。	79頁	390g 0.5cm	1,000円	A4縦
愛知県埋蔵文化財 センター共同企画展 「畏きものたち」 ～東海地方のまじない と文化～	平成 17年	愛知県埋蔵文化財センター共同企画展。県内各地で出土した占いや呪術につかわれた道具を紹介。	102頁	460g 0.6cm	1,000円	A4縦
企画展 「山崎文庫」 ～日本デンマークをきずいた山崎延吉の遺品～	平成 18年	愛知県農林学校(現愛知県立安城農林高等学校)の初代校長として安城へ赴任した山崎延吉を記念する山崎文庫を紹介。後には、都市の発展に負けない農村建設やそれを支える農民養成を主張して全国をまわった山崎延吉の人柄をうかがう。	64頁	321g 0.5cm	1,000円	A4縦

書名	年度	内容	頁数	重量 厚み	定価	版形
企画展 「三河地震」 ～直下型地震の恐怖～	平成 18年	終戦の年の1月13日、西三河南部地方を襲い大きな被害を出したにもかかわらず、戦時下の情報統制のためあまり報道されなかった三河地震。貴重な写真や記録、被害者の証言などを収録。	112頁	511g 0.7cm	1,000円	A4縦 第2刷 (平成18年)
特別展 石川丈山のこころ 「煎茶の世界」	平成 18年	かつて煎茶の「元祖」といわれた安城出身の石川丈山。煎茶の歴史や名品をたどりながら、丈山と煎茶の接点を探ります。	88頁	416g	1,000円	A4縦 完売
企画展 「くらしを変えた電化製品」	平成 18年	昭和30年代までの古い電化製品を、それ以前の道具とを比較しながら紹介。かつて安城市がラジオ普及率日本一になったことと合わせて、電化製品の普及を考えます。	46頁	240g 0.4cm	500円	A4縦
企画展 「模写」	平成 19年	高松塚古墳壁画や源頼朝像など、国宝級絵画の模写作品を紹介。館蔵の阿弥陀三尊来迎図を例に、模写作品の過程も収録。	47頁	258g 0.4cm	500円	A4縦
ミュージアム・スポット 「つくられた猫 ・描かれた猫」	平成 19年	江戸時代に流行した化け猫の浮世絵や福を呼ぶ招き猫など、愛知県ゆかりのネコを中心に紹介します。	14頁	66g 0.1cm	無料	A4縦 完売
市制55周年記念特別展 「『安城方式』と呼ばれたほ場整備」 ～安城の農業発展を支えた人びと～	平成 19年	農業の近代化にかかせないほ場整備。安城で行われたほ場整備は、道路や工場用地の計画もまきこんだ先進的なものとして全国的に注目されました。その工夫と実践を紹介します。	175頁	660g 1.2cm	1,000円	A4縦 第2刷 (平成19年)
企画展 「漂着モノがたり」	平成 20年	海岸や河原に流れ着くさまざまなモノを、伊良湖の椰子の実、矢作川、日本海に分けて紹介。それぞれの漂着物から人々のくらしや歴史を読み解きます。	72頁	240g 0.5cm	700円	A4横 (変形)
企画展 「三河の古墳」 ～安城の古墳時代を探る～	平成 20年	古墳時代は大きな墳丘に多量の副葬品を納めた古墳がつくられた時代です。東西三河の古墳の流れを読み取り、近年の調査蓄積がある安城の古墳、そして古墳時代を紹介します。土生田純之氏ほか4名の論稿も収録しています。	88頁	420g 0.6cm	800円	A4縦 第2刷 (平成20年)
特別展 「江戸っ子が見た 三河万歳」	平成 20年	絵画や古文書をとおして江戸で活躍した三河万歳の姿を紹介します。	87頁	415g 0.5cm	800円	A4縦
企画展 「徳川家康の源流 安城松平一族」	平成 21年	徳川家康を輩出することとなる安城松平一族ゆかりの資料を通して、安城城(安祥城)を中心とした安城市域、さらに三河戦国期を探る一冊。村岡幹生氏(中京大学)・久保田昌希氏(駒澤大学)をはじめとする戦国期研究の第一線の方々の論考も必見です。	152頁	680g 0.9cm	1,000円	A4縦

書名	年度	内容	頁数	重量 厚み	定価	版形
ミュージアム・スポット 「私の好きな逸品 収蔵名品展」	平成 21年	開館20周年記念プレ展覧会として、安城市民をはじめとする皆様による人気投票で選ばれた本館収蔵(寄託資料を含む)の名品を紹介。皆様のおすすめコメントや研究者・本館職員の解説から安城市の指定文化財や隠れた逸品を知る機会となる、お手ごろな一冊です。	15頁	65g 0.1cm	100円	A4縦
ミュージアム・スポット 「村絵図 ～安城北部の村々～」	平成 22年	江戸時代、東海道が走り、碧海台地上の水の乏しい地域であった市内北部の村々の絵図類を収録しています。その他に東海道図や古文書なども含め、約30点を掲載しています。	16頁	65g 0.1cm	100円	A4縦
道中-江戸時代の 旅人と海道 企画展 「風まかせ東海道中」	平成 22年	江戸時代に描かれた絵画や道中日記から、当時の旅や東海道の名物を紹介。また、安城市域を中心に、道沿いの人々の暮らしや役割を伝える資料を多数掲載しています。	87頁	412g 0.6cm	800円	A4縦
企画展 「戦争のなかに生きる」	平成16 年完売 平成 22年 第2刷	戦争に関する資料を一般市民の視点で展示、解説。 安城市東端町一帯にあった、明治航空基地と第210海軍航空隊も取りあげる。市民13人の戦争についてのインタビューも収録。	123頁	560g 0.9cm	1,200円	A4縦
特別展 「安城御影」	平成 22年	かつて安城に伝来した親鸞の寿像「安城御影」について、その原本と模写本などを紹介、描かれた背景や後世に与えた影響をたどります。	80頁	392g 0.6cm	800円	A4縦
開館20周年 記念特別展 「描かれた農 四季耕作図」	平成 23年	中国から伝えられた四季耕作図の日本における変遷が迎える数々の作品を掲載するとともに、浮世絵や工芸品への拡がりをあわせて紹介しています。	141頁	647g 0.9cm	1000円	A4縦
ミュージアム・スポット 「収蔵品展 百年前の絵はがき」	平成 23年	平成21年度に榎前町の齊藤家から膨大な歴史資料が寄贈されました。今までに収蔵された資料の中にあるものを含め、絵はがきは約1万点の収蔵となりました。今に通じるモダンなデザインや当時の世相や雰囲気を楽しんでいただけるお手ごろな一冊です。	15頁	65g 0.2cm	100円	A4縦
企画展 「汽笛一聲・ 安城駅120年」	平成 23年	明治24年(1891)全線開通したばかりの東海道線に、始めはなかった停車駅が新設されました。現在の安城駅です。この地域の発展は、この駅なくしてはありえませんでした。開業から120年、安城駅など市域と鉄道の間を関係を紹介しします。	87頁	436g 0.9cm	1000円	A4縦 完売
企画展 「戦時下にできた 治航空基地」	平成 23年	明治航空基地は、太平洋戦争中に現在の東端・根崎・和泉町にできた海軍の飛行場です。平成21年度に残存施設の1つである非常用発電所の調査を行なったところ、内部は良好に残っていることが明らかになりました。この調査成果も含めて紹介しします。	85頁	432g 0.8cm	800円	A4縦

書名	年度	内容	頁数	重量 厚み	定価	版形
ミュージアム・スポット 「村絵図」 ～江戸時代の 油ヶ淵と周辺の村々～	平成 23年	油ヶ淵の変遷がわかる絵図、また市内南部の村だけでなく、碧南、高浜、西尾の油ヶ淵周辺にあった村の絵図など紹介します。 村絵図 に続きお手ごろな一冊です。	15 頁	68g 0.1cm	100円	A4縦